



舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和8年4月30日発行

学校HP

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子



「だれかのために」

～知恵を絞り、汗をかき、時間を忘れて熱中する～

4月1日、全国各地の様々な企業で新入社員を迎える入社式が行われました。各社、いろいろと趣向を凝らし、新入社員の夢や希望を後押しし、これからの会社を担っていく貴重な人材として温かく迎え入れる様子が、ニュースなどで伝えられていました。

そんな折、トヨタ自動車の入社式の内容について話を聞く機会がありました。それはトヨタが誇るV8のエンジン音が響いた入社式だったようですが、その中で、新入社員へのエールとして贈られた3年前に亡くなった豊田章一郎名誉会長の言葉についてとても心に残りました。



「新しいモノをつくるために知恵を絞り、汗をかき、時間を忘れて熱中する。その瞬間が極めて楽しい。苦心した末にモノができあがったとき、それを誰かが使って、喜んだり、助かったりしたとき、このうえない喜びと感動に包まれる。だから、もっと勉強し、働いて、もっと良いモノをつくらうと思う。」

トヨタ自動車は創業以来長い歴史の中で、様々な困難を克服し、挑戦を重ね、今日の地位を築いておられますが、その歩みの原点には、常に「誰かのために」との思いを持ち、取り組まれてきたそうです。この精神が脈々と受け継がれ、トヨタ自動車は、世界にも名を馳せる企業であり続けています。

このトヨタ自動車の社是を教職員に当てはめてみます。「だれかのために」は、言うまでもなく「子どもたち」のためにです。私たち教職員は、子どもたちにとって居心地のよい、大好きな学校にするためにどうすればよいか。また、一人一人の子どもたちを自立したよりよい立派な人間にするには、どうすればよいかについて日々考えていかなければなりません。一人で考えるにはとてもとても大きな課題ですので、一緒に働く同僚たちと知恵を絞り、汗をかき、時に時間を忘れて議論する。そんな日々の営みが、新舞鶴小学校という学校価値を高めていくことにつながると考えます。常に「子どもたちのために」という信念を曲げることなく、日々精進していく所存です。

この「だれかのために」という意識は、子どもたちにも身に付けさせたい意識です。最近では「〇〇ファースト」という言葉をよく耳にし、他人よりも自分のことが優先する風潮を感じる場合があります。その考え方が過ぎると、人間関係がぎくしゃくしたり、人を傷つけたりすることにつながります。それを国の規模でいえば戦争という形で表れてしまうかもしれません。人間としていつも「だれかのために」という意識を持つことで、人に対して温かくできたり、優しい気持ちになれたりします。「家族のために」「友達のために」「学級のために」「学校のために」など、その対象は時と場合で変化はしますが、常に相手意識を持って考えることは、これからの変化の激しい時代の中で、より強く求められる「よりよく人とコミュニケーションする力」とっては必要不可欠な要素です。子どもたちには、学校という社会の縮図の中で、いろいろな人と関わり、「〇〇のために」という意識に気付き、考え、行動することが、物事を穏やかにストレスなく進めることにつながるという実感をたくさんさせたいと考えます。



明日から5月が始まります。新しい学級や仲間ともよりよい関係が築け始めています。「〇〇のために」という気持ちを大切にさせて、さらに強い絆で結ばれる取組を進めていきます。5月も、保護者・地域の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同